

# 全労金2023春季生活闘争ニュース・第9号

～勝ち取ろう賃金改善！“みんなの春季生活闘争”で生活不安を払拭しよう！～

北海道・新潟労組の要求概要と交渉への決意を紹介します！

## ◎北海道労組の要求概要

		北海道労組（金庫）					
		正職員	パートナ-職員			再雇用嘱託職員	
			P1	P2	P3	シニア	パートナ-
最低賃金		時間額1,060円、日額7,770円、月額163,200円への引き上げ					
基本賃金	改善内容	○Nコース初任賃金の引上げ／高卒170,000円、短大卒190,000円、大卒208,000円 ○Nコース月例賃金の引上げ／高卒5,000円、短大卒5,000円、大卒3,000円 ○キャリア1等級月例賃金の引上げ／高卒5,000円、短大卒5,000円、大卒3,000円	5,000円 ※下限5,000円の引き上げ	3,000円	1,000円	○初任賃金203,000円に引き上げ ○在職職員3,000円の引き上げ	○初任賃金163,600円に引き上げ ○在職職員5,000円の引き上げ
一時金		4.7	1.2	2.0	—	—	
昨年実績		4.7	1.2	2.0	—	—	
安定雇用	無期転換	—	(実現)			—	
雇用環境	私傷病休職	—	(実現)			—	
	育児時短	小学校卒業まで（※現在は小学校4年生まで）					—
単組独自要求		「育児・介護休職期間」の復職時賃金について、定昇テーブルの標準考課で休職期間中における昇給の実施					—
		性的指向・及び、性自認、性表現（SOGIE）やDV被害者への対応について、労使で課題を認識したうえで、必要な取り組みに関する協議の開始					
関連会社		最低賃金を金庫職員と同額にする申入書を提出					

### 《北海道労組・原田書記長（写真は左）の決意》

北海道労組2023春季生活闘争方針は、連合、及び、全労金方針に基づき、労働組合における社会的役割の発揮や人への投資に加え、経済情勢や金庫の経営状況、これまでの取り組み経過等を踏まえた要求としました。

具体的には、現下の物価上昇に対し、より大きく影響

を受ける若年層や嘱託等組合員に対する生活の底上げ・底支えの観点、さらには、家庭環境やジェンダー等、様々な違いを互いに認め合い、誰もが安心して働き続けることができる環境を醸成する観点で、組合員と議論を重ね、方針を確立しました。



2023春季生活闘争は、日本社会全体が賃上げの必要性を認識する一方で、金庫の経営状況は、日銀による長年の金融緩和政策や他金融機関との競合により課題も多く、交渉は厳しいものになることを想定しています。

そのような中においても、北海道労組闘争委員会は、組合員の日々の奮闘に応えるため、すべての要求実現をめざし、闘い抜きます！ともに頑張りましょう！！

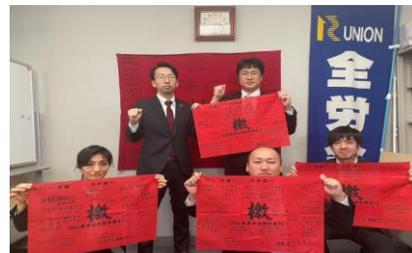


### ◎新潟労組の要求概要

		新潟労組（金庫）									
		正職員		準職員				再雇用嘱託職員			
		A	B	フルタイムC	パートタイムC	正職員	A	B	フルタイムC	パートタイムC	
最低賃金		時間額1,070円、日額7,850円、 月額164,900円への引き上げ									
基本賃金	改善内容	5,000円	5,000円	5,000円	6,300円	時給40円	基準額 5,000円 の引上げ	基準額 5,000円 の引上げ	基準額 5,000円 の引上げ	基準額 6,300円 の引上げ	基準額 時給40円 の引上げ
一時金		4.8	3.0		3.0	月数換算 3.0	制度化（1.0）				
昨年実績		4.8	3.0		1.5	1.5換算	-				
安定雇用	無期転換	-					(実現)				
雇用環境	私傷病休職	-					(実現)				
	育児時短	(小学校3年生以上、申請方式)									
単組独自要求		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 《新潟労組・吉田書記長（写真は左上）の決意》

本春季生活闘争は、急性的な物価上昇を背景に、例年以上に世間からも注目を集める春季生活闘争です。もちろん組合員からも、中央委員会や職場オルグ等を通して、何としても賃金改善を勝ち取ってほしい！という強い想いをひしひしと感じます。この間新潟では、賃金改善に係る交渉において金庫から厳しい姿勢が示されており、労組の主張に理解を示す姿勢は見受けられません。



だからこそ、本春季生活闘争では金庫に対して、今の情勢・将来への展望・組合員のこれからの生活をどう捉えているのか、問い質した上で、組合員の切実な想いをぶつけ

ていきます。そして、全国で闘っている仲間と想いを共有しながら、皆さんの後押しができるよう取り組んでいきます。全ての要求に組合員一人ひとりの思いが詰まっていることを意識し、拘りを持って闘いを進めていきます。ともに頑張りましょう。



以 上

《全労金のSNSでも紹介しています!》

☆ 全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>)

☆ 全労金Facebook (<https://www.facebook.com/zenrokin>)



※次号は3月7日に発行します!